

経営比較分析表

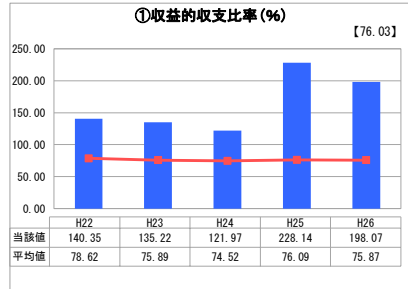
岐阜県 養老町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	7.54	974

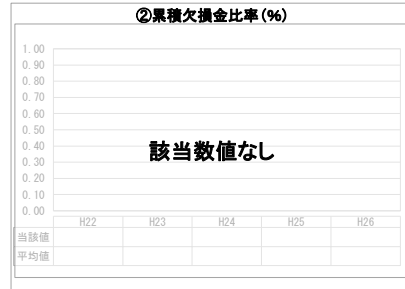
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
31,013	72.29	429.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
2,324	15.00	154.93

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



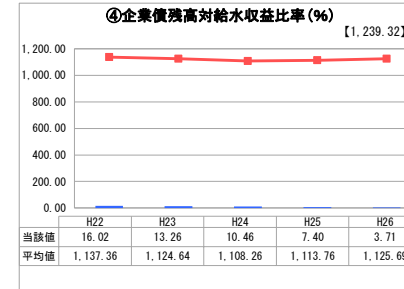
「単年度の収支」



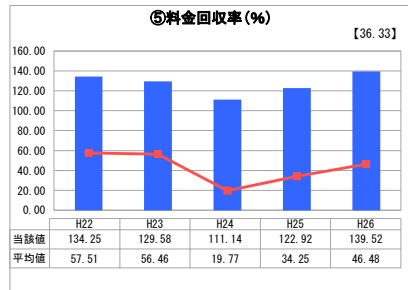
「累積欠損」



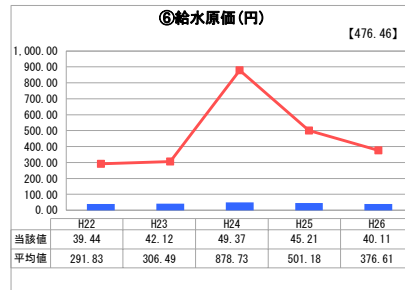
「支払能力」



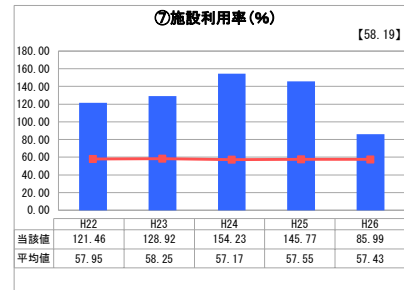
「債務残高」



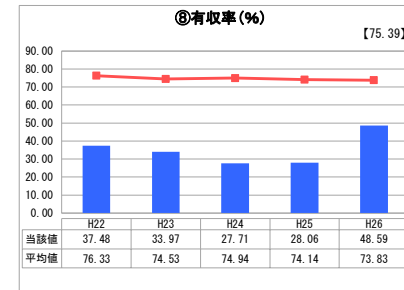
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

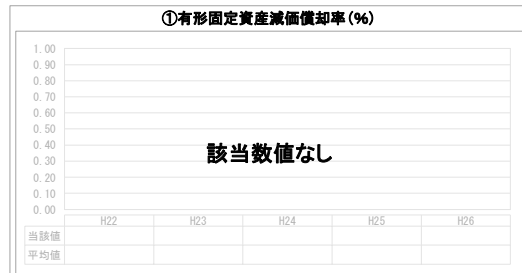


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

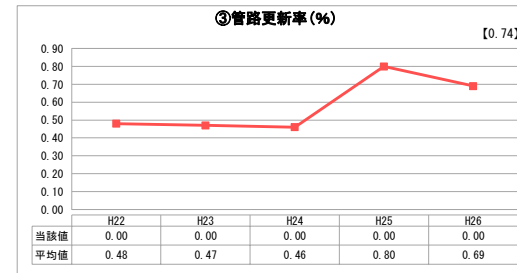
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

指標が100%以上であれば、単年度の収支が黒字であることを示す「収益的収支比率」は、198%で単年度収支は黒字となっています。企業債残高の規模を表す、「企業債残高対給水収益比率」については、3.71%で企業債残高は少ないです。収益に関して数字を見ると健全であると判断されます。施設利用率は平均より高い数値ですが、有収率が低いということで、効率性は良くないと判断されます。原因として埋設管での漏水が考えられますので、今後の対応として漏水調査を行い、早期発見・対応することで有収率が向上し、効率性を改善できると考えられます。

2. 老朽化の状況について

施設の老朽化が進んでいるため、埋設管の漏水など有収率の低下につながっていると考えられます。そのため適切な施設更新を行っていく必要があると考えられます。

全体総括

施設の老朽化が顕著であるため、早期の施設更新が必要であると考えられます。現在、収益に関して数字上は健全であると判断されますが、施設更新を継続的に実施するための財源は不足しており、財政的な負担の確保が課題であると考えられます。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。